



新興日本國民たる
郷土青年に絶叫す

【大平市實現待望論】

愛鄉冠者

平町は多年の計畫でありの窮境に耐忍し、寢食をも

現に向つて寧日なき奮闘を

促進運動は、今やその實

形を整ひ、諸般に於て積極的活動を開始しつゝある。

町個々の、實力の貧富に

對する多少の懸念はあるに

本質に於ては、批難を蒙

むる點や、改革を要する缺

陥が多々ある事は否定し得

ないとしても、これは平町

の大きな自治体を縮少し

むる點や、改革を要する缺

陥が多々ある事は否定し得

模倣を去れ。
建築に努力せよ。

物真似は猿に等しい。

將來益々多事多難なる平

穀頃りである。『市制施行忘れて往年の大獨逸王國再

成就させるのだ。

以上論じ來りたりと雖も

決して中、老年の先輩長上

を排斥、忌否するの意味で

を以つて永遠の救濟をなし得るものであらう。桑の木の皮は立派な紙による資本を投じて間接的に二物真似は猿に等しい。

將來益々多事多難なる平穀頃りである。『市制施行忘れて往年の大獨逸王國再成就させるのだ。

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

物真似は猿に等しい。

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二

害の苦杯を繰り返してゐる事を考ふべき事で、膨大な資本を投じて間接的に二